

平成30年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表 (詳細リンク先が準備中場合があります。)

担当	状態	テーマ名	詳細リンク先	内容	講師・説明者	開催日	開催場所	想定定員	受講料円/人
製品開発支援担当	実施済	グッドデザイン賞応募説明会・審査体験会	http://www.oita-ri.jp/8562	第1部 グッドデザイン賞応募説明会、センター製品開発支援事業のご案内 2019年グッドデザイン賞の応募についての概要説明、グッドデザイン商品創出支援事業の紹介 第2部 デザイン評価体験会 グッドデザイン賞の審査に基づいた「評価」を模擬体験していただき、その体験を通じて自社の製品開発に活かすための方法を考えます。	公益財団法人日本デザイン振興会事業部長 藤原明子氏	平成30年4月20日(金) 13:00~15:30	センター第1研修室	30名	無料
	台風により中止 次回開催検討中	3Dプリンター活用セミナー		「3Dプリンターの最新情報2018」 3Dプリンターの概要(造形方式・材料等の基本技術)→最新技術動向 生産現場における活用事例(造形サンプルを使った解説など)	株式会社リコー AM事業センター三浦邦博氏	平成30年8月23日(木) 13:10~16:10	県立工科短期大学校(中津市)	30名	無料
	募集中	人間生活工学製品機能認証説明会「人にやさしいものづくりセミナー」	http://www.oita-ri.jp/9192	人にやさしいものづくり、製品開発プロセス、製品事例、人間生活工学製品機能認証について	一般社団法人 人間生活工学研究センター 畠中順子氏	平成30年9月27日(木) 13:30~15:30	センター第1研修室	30名	無料
	計画中	製品企画書作成セミナー		製品企画書作成に関するセミナー(ワークショップ)	センター製品開発支援担当	平成31年1月頃	センター第1研修室	20名	無料
	計画中	パッケージデザインセミナー		パッケージデザインに関するセミナー(詳細未定)	センター製品開発支援担当(荒木)	平成31年2月頃	センター第1研修室	30名	無料
電子情報担当	実施済	EMC試験セミナー	http://www.oita-ri.jp/8674	本年度整備した電波暗室に(株)東陽テクノ製のEMC試験システムを導入しました。 2019年EMC試験は試験室とEMC測定器や試験機、機器のセットアップ等が複雑です。本研修ではEMC試験測定とエミュレーション試験について、2日間わたり座学と実習形式で研修します。	株式会社東陽テクノ 技術部 村田将文氏	平成30年5月24日(木)~ 25日(金)の2日間	センター第2研修室、電波暗室	16名	無料
	実施済	VCCIセミナー	http://www.oita-ri.jp/8863	無線通信の発達やデジタル機器の増加により、電気・電子機器におけるEMC規制への対応の必要性はますます高まっています。そこで、一般財団法人VCCI協会の協力により、VCCIセミナーを開催します。 ・VCCI活動紹介と今後のEMC規制動向 ・マルチメディア機器の国際規格(CISPR32)について ・VCCI研修事業の概要と測定法の留意点	一般財団法人VCCI協会 常務理事 小田明氏、 技術専門委員会委員長 平原英氏、 教育研修専門委員会委員長 奥山信一氏	平成30年7月13日 13:30~16:30	センター第1研修室	40名	無料
	計画中	ノイズ対策セミナー		ノイズ対策の基礎(発生源、放射源の見つけ方)	インターテックジャパン株式会社	平成30年11月頃	センター第1研修室	30名	無料
電磁気担当	実施済	通風抵抗とファン動作風量の測定による強制空冷機器の設計セミナー	http://www.oita-ri.jp/9006	センターで導入したエアフローメーターでは、強制空冷機器のファン動作風量と通風抵抗を測定できます。測定結果を熱設計に活かすことで、短時間で最適なファン選定を行えます。また、短期での筐体設計の見直し(エアフロー)の改善効果も期待できます。 【講義】一般的なファン選定方法とその課題、エアフローメーターを使ったファン選定。 【デモ】エアフローメーター選定例(動作風量、通風抵抗)	山洋電気株式会社 代理店部第1課 水野賢佑氏	平成30年9月6日(木) 13:30~16:30	センター第2研修室	20名	無料
	募集中	はじめての電磁界解析&ソフトウェア使いこなし術	http://www.oita-ri.jp/9268	これから電気機器を設計開発を行う技術者、または電磁界解析ソフトウェアの活用に関心のある技術者を対象とした初心者向けの技術研修。 【講義】1. はじめての電磁界解析【実習】2. JMAG使いこなし術:ダイレクトモデリングを用いた永久磁石モータのパラメトリック解析	株式会社JSOL 近藤隆史氏	平成30年10月5日(金) 13:00~16:30	センター第2研修室	8名	無料
機械担当	募集中	構造解析システム「ANSYS」の操作個別研修	http://www.oita-ri.jp/9197	CAEソフト「ANSYS」(H27年度導入)の利用促進のため、操作取扱いについて、分野別に簡易なチュートリアル形式で個別の指導を行います。CAEは、コンピュータ上で構造・伝熱・流体等の現象をシミュレーションする技術のこと、ものづくりに関しては、製品の設計・試作工程の事前検討や、品質管理に広く活用されています。 本研修では、CADモデルからの作成から簡単な構造解析(熱解析まで)、問題を用いての操作実習を行い、CAEの概要と活用法について理解を深めていただきます。 開催時間:1回につき90分程度(事前説明:20分、操作研修70分)	センター機械担当(清水)	随時募集 平成31年2月28日まで (日程は申込者と要相談、同一企業の受講は1回まで)	センター材料開発棟G108-1	4名/回 操作機器は1台のみ	無料
	募集中	高速度カメラ出張技術講習会	http://www.oita-ri.jp/8764	高解像度ハイスピードカメラ(H23年度導入)の利用促進を図るため、県内企業からの要請に応じて、製造・開発現場へ入社して、カメラの活用を支援し、取り扱いは基礎的研修および撮影現場の条件に即した応用的な撮影方法研修を行う。(高速度カメラ取扱規定の個別対応) 1回あたり1時間程度(前半:基本操作講習、後半:応用操作講習)	センター機械担当(伊野)	随時募集 平成31年2月28日まで (日程は申込者と要相談、同一企業の受講は1回まで)	申し込み者と打ち合わせのうえ企業所在地またはセンター内など(県内のみ)	5名×3企業	無料
	計画中	精密測定技術講習会		CNC3次元測定機(H29年度導入)を中心に、精密測定技術に関する研修を行います。 1回につき、講習会1.5時間、実機1.5時間	メーカー担当講師	平成30年9月下旬	センターA201、D101	10名	無料
金属担当	募集中	顕微鏡観察・硬さ測定等の評価試料作製および評価技術の研修	http://www.oita-ri.jp/8779	顕微鏡観察や硬さ測定等を行う際に必要となる評価試料作製方法を個別に持ち込まれた試料を用いた作製実習を通して習得します。また、試験機を用いた評価試験の実習を行い、試験方法を理解・習得します。 【内容】1.評価試料作製と評価試験に必要な知識の説明(約30分) 2.評価試料の作成(実習、約3時間) [評価目的、試料の種類等により異なる] 3.評価試験の実習(1時間)	センター金属担当	随時募集 平成31年3月1日まで 平日8:30~17:00のうち の4.5時間程度(ただし、事前の日程調整必要)	センターG105	1回につき3名以内(原則1人1回)	1200
	実施済	最先端技術講座 金属3Dプリンターによるものづくり	http://www.oita-ri.jp/8986	3Dプリンターは、製品の試作やデザイン検討などで、産業界でも建築、自動車、航空、医療などの幅広い分野で広く利用されています。当センターでは、本年度新たに導入した高速度カメラ(H23年度導入)の活用を支援し、取り扱いは基礎的研修および撮影現場の条件に即した応用的な撮影方法研修を行う。(高速度カメラ取扱規定の個別対応) 1回あたり1時間程度(前半:基本操作講習、後半:応用操作講習)	SOLIZE Products株式会社 技術スタッフ	平成30年8月3日(金) 13:30~16:00	センター研修室	50名	無料
工業化学担当	計画中	基礎から学ぶ! 熱分解ガスクロマトグラフ質量分析(Py-GCMS)入門		熱分解ガスクロマトグラフ質量分析(Py-GCMS)はプラスチックなどの有機物を急速熱分解して熱分解生成物をガスクロマトグラフで分離し、質量分析計で同定、定量する分析装置です。そもそもガスクロマトとはどんなときに使うのか、熱分解ガスクロマトでどのような情報が得られるのかと事例を含めて解説します。また、新しい装置の紹介を兼ねて装置の概略説明・見学も予定しています。	装置メーカー担当者	平成30年秋頃	センター第1研修室、B302室	20名	無料
	募集中	化学分析の基礎セミナー	http://www.oita-ri.jp/9315	ガラス器具やマイクロピペットの正しい使い方、分析に用いる純水の取り扱いなどは化学分析の基礎ですが、知られていないことも意外と多くあります。新人教育やスキルアップのために参加してください。 1.マイクロピペットの正しい使い方 2.わかっているようで…誤解と間違いの多い実験用ガラス機器の知識と取り扱い 3.水は基本! 超純水・純水・超純水の基礎知識・水質の重要性と超純水の使い方のポイント	エッペンドルフ株式会社 後藤努氏 東洋科学株式会社 米谷和規氏 メルク株式会社 木村裕次氏	平成30年11月7日(水) 13:15~16:50	センター第1研修室	30名	無料
	募集中	FT-IRの基礎と異物分析セミナー	http://www.oita-ri.jp/9286	FT赤外分光光度計の利用促進および技術力向上のため以下の内容で開催します。 講義:FT-IRの基礎 ワークショップ:簡易分析(マイクロFT-IR)、異物サブプリング実演、異物分析(顕微鏡FT-IR)	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 ケミカルアプリケーション事業本部 アプリケーション部 マネージャー 小松 守氏	平成30年11月1日(木) 13:30~16:30	センター第1研修室、C303	30名	無料
	計画中	熱分析の基礎セミナー		熱分析の基礎的な内容について実施。座学とワークショップを予定。	装置メーカー担当者	平成31年1月頃	センター第2研修室、B206	15名	無料
食品産業担当	募集中	微生物検査技術研修	http://www.oita-ri.jp/9040	「食の安心・安全」のためには、食品製造所内の清浄度の上や製造段階の生菌数の低減、流通段階での微生物制御が重要なため、微生物検査の考え方や試料の取り扱い、培地の調製法など実技を中心とした技術研修を行います。	センター食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00~12:00または 13:30~16:30	センター内	2~3名/回	無料
	募集中	食品の賞味期限・消費期限設定のポイントとその方法	http://www.oita-ri.jp/9038	賞味期限・消費期限の設定は、食品の特性、品質変化の要因や原材料の衛生状態、製造工程での衛生管理・包装の形態、流通・保存環境など様々な要素を勘案し、科学的、合理的に行うことが必要です。そこで、賞味期限・消費期限設定の基礎と留意すべきポイントと併せて、科学的根拠に基づいた微生物試験、理化学試験、官能試験等の設定方法を、実技を交えて個別に解説します。	センター食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00~12:00または 13:30~16:30	センター内	2~3名/回	無料
	募集中	食品の品質管理技術向上のための機器分析	http://www.oita-ri.jp/9036	自社製品の品質維持、向上のためには、まず製品毎の特性を知ることが鍵となります。その評価の手法として機器分析を取り入れることができれば、「安全・安心」な製品を安定的に生産することが可能となります。そこで、品質管理のターゲットとなる成分を目標め、その分析技術導入のための支援を総合的に行う研修を、各社の要望に対応した内容で個別に実施します。	センター食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00~12:00または 13:30~16:30	センター内	2~3名/回	無料
食品産業担当	実施済	乾燥技術の概要と乾燥加工による商品開発・地域振興の事例紹介(第1回食品加工技術高度化研修)	http://www.oita-ri.jp/8800	温風乾燥機を製造している株式会社木原製作所から講師をお招きし、「温風乾燥の基礎」について解説します。また、木原製作所の乾燥機の特徴と乾燥加工でできた物でどのような商品開発ができるかなど、これまでの事例も紹介いたします。	株式会社木原製作所 専務取締役 木原利昌氏	平成30年6月27日(水) 13:30~16:00	センター多目的ホール	50名/回	無料
	計画中	第2回食品加工技術高度化研修		計画中	センター食品産業担当		センター	30名/回	無料
	計画中	第3回食品加工技術高度化研修		計画中	センター食品産業担当		センター	30名/回	無料